



GEIL

Policy Making Contest for Students

学生団体GEIL 2026年度活動概要書

目次

1. GEILとは p3
2. 団体理念 p4
3. 活動概要 p5-6
4. ケーステーマ p7-8
5. 組織体制 p9
4. 「学生のための政策立案コンテスト」 p10-11
5. ご後援 p12-13
6. さいごに p14

学生のための 政策立案コンテスト

を運営する団体です

日本最大級の政策立案コンテストである「学生のための政策立案コンテスト」では、全国の大学から集った約100人の大学生が、7泊8日の合宿形式で社会課題の解決策となる政策立案に挑戦します。

「政策立案を通じた、知的交流の創出」

GEILでは全国から集まった学生たちが、7泊8日の合宿形式で政策立案の中で大いに成長できる「場」を提供しています。

社会課題の現状を調べ、どんな未来を目指すのかを各チームごと深く洞察し、議論を重ね、発表時に表現力と説得力を発揮し、各チームの立案を競い合うことで、個人では得ることのできないチーム力や合意形成能力やコミュニケーション力を育みます。

年間活動概要

活動場所

- ・国立オリンピック記念青少年総合センター
- ・各大学(東京大学・早稲田大学・上智大学) 他

活動内容

- ・「学生のための政策立案コンテスト」に向けた勉強会
- ・永田町での勉強会
- ・霞が関での各省庁訪問による勉強会、各省庁で直接政策を学ぶ

活動期間

- ・現メンバー:2025年4月~2026年10月
- ・新メンバー:2026年4月~2027年10月
- ・1,2年中心、活動期間約1年半

最近の勉強会

※敬称略

- ‘25.4/25:地方創生の本質を考える
 - ‘25.5/24・25:パネルディスカッション ～地域コンテンツの活かし方～ ～復興と地域力～
 - ‘25.5/30:地方創生を考える
 - ‘25.6/27:農業から地方創生
 - ‘25.7/18:地方創生を考える
 - ‘25.9/26:人口減の中で医療・福祉充実社会を考案
 - ‘25.8/26:パネルディスカッション「地方創生」
 - ‘25.9/26:人口減の中で医療・福祉充実社会を考案
 - ‘25.10/31:バイオ研究の可能性&農林水産省背策今後
 - ‘25.11/28:日本の一次産業を考える
 - ‘25.12/26:農業現場の魅力と課題と対策
 - ‘26.1/23:一次産業の現状から可能性を引き出す
 - ‘26.2/26:一次産業の現状から可能性を引き出す
- 3月以降も引き続き開催予定

(一社)次世代社会研究機構代表理事西田陽光様のご協力により政策勉強会を企画、実施いただいています。

歴代のコンテストのケーステーマ

第1回(1999):女性の再就業
第2回(2000):中小製造業
第3回(2001):高等教育
第4回(2002):選挙
第5回(2003):初等教育
第6回(2004):若年人材の最適活用
第7回(2005):小学校教育改革
第8回(2006):港区における都市生活
第9回(2007):医療問題
第10回(2008):農業政策
第11回(2009):働き方改革
第12回(2010):医療供給体制の構築
第13回(2011):若年雇用問題
第14回(2012):教育格差

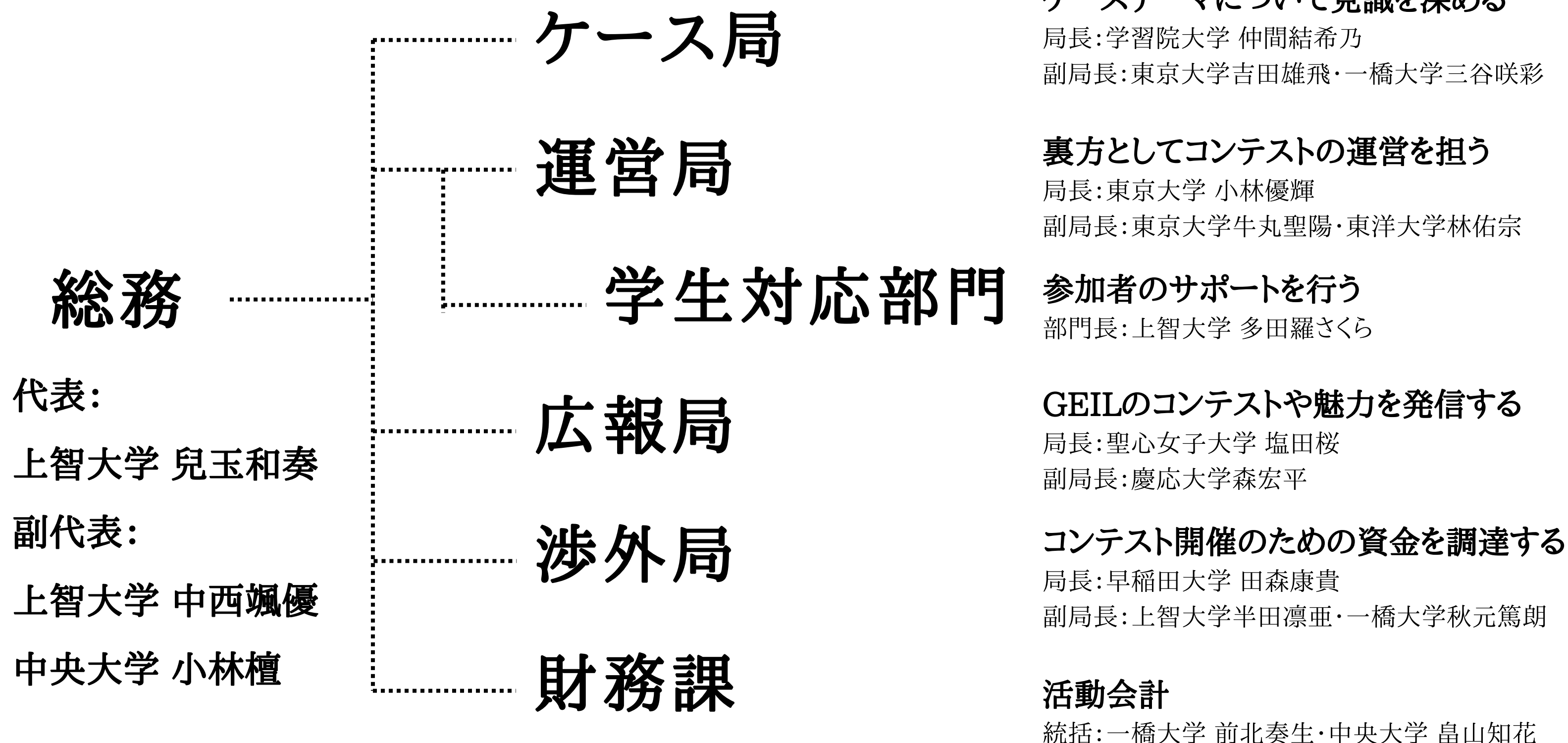
第15回(2013):日本製造業の問題
第16回(2014):女性の社会進出
第17回(2015):税と社会保険
第18回(2016):就学前教育
第19回(2017):非正規雇用問題
第20回(2018):健康格差
第21回(2019):多文化共生社会
第22回(2020):教育格差
第23回(2021):循環型社会
第24回(2022):労働問題
第25回(2023):科学
第26回(2024):災害
第27回(2025):地方創生
第28回(2026):第一次産業

第一次産業が抱える問題

近年、日本の食糧自給率は減少傾向にあり、その改善のために第一次産業の担い手確保や生産性向上の重要性が指摘されています。しかし、収益が高くない割に重労働などといった現状が若者を第一次産業から遠ざけ、深刻な高齢化と人手不足の現状を引き起こしています。これは産業としての問題だけではなく、国土保全や文化継承、心の安らぎといった多面的機能を損なう要因になります。命の営みと暮らしの土台となる第一次産業を守るために、私たちは何ができるかを模索し続けなければいけません。

現行政策

食料・農業・農村基本法や改正漁業法、森林・林業基本法に基づき、生産性向上や資源管理などへ向けた各種政策が展開されてきた。しかしながら、現場では依然として解消されない課題も残っており、現行政策の限界を見極め、新たな視点で第一次産業を向き合う必要があると考えます。



「学生のための政策立案コンテスト」

- ・8月24日～8月31日(7泊8日)
- ・国立オリンピック記念青少年総合センター
- ・全国から約100人が参加

Day1 開会式/基調講演

8/24



Day3 官庁訪問

8/26



8/25

Day2 ヒヤリング



8/27

Day4 ヒヤリング



8/29

Day6 終日戦略策定



8/28

Day5

コンサルテーション
懇親会



Day7

8/30

予選プレゼンテーション



Day8

8/31

決勝プレゼンテーション

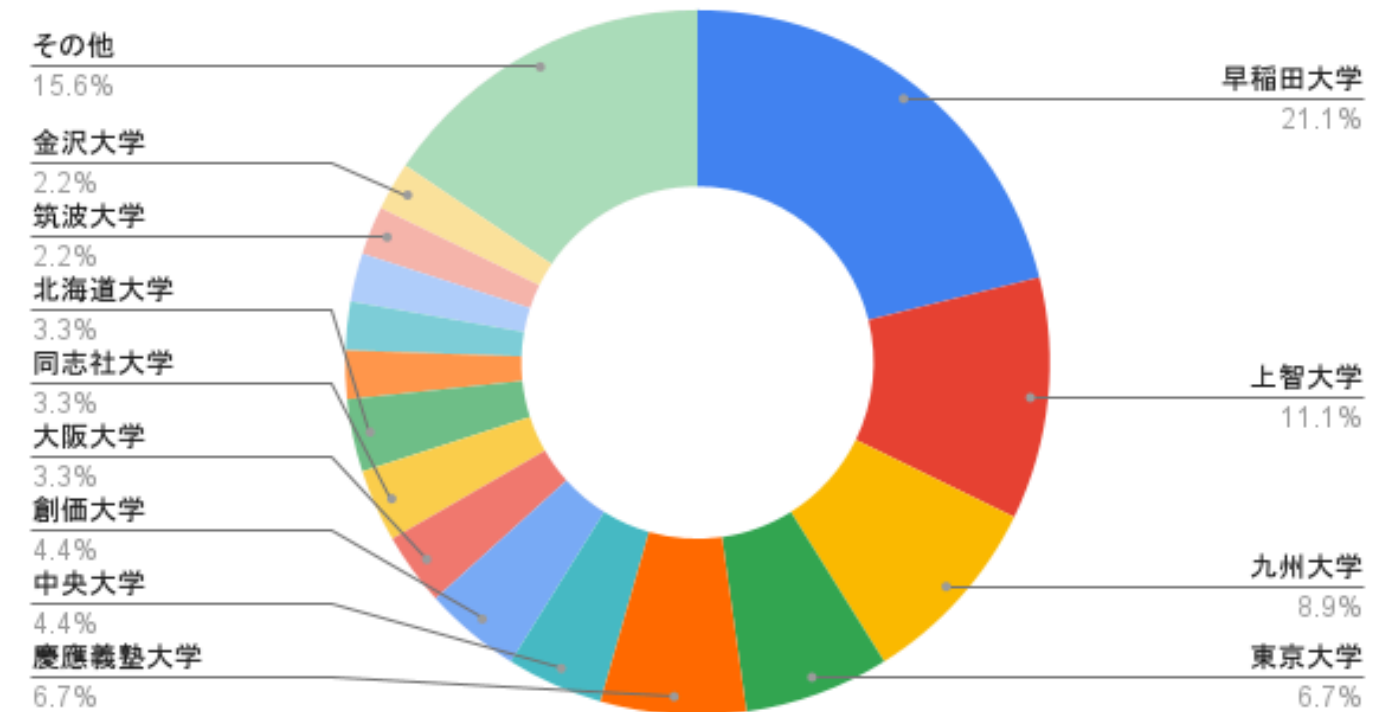


参加者の声

・官庁訪問では自分が将来希望している省庁の官僚の方と直接お話でき、よりここで働きたいという思いが強まりました。

・苦楽を共にした最高の仲間に出会え、今後への学びも多く、充実した8日間でした。このような素晴らしいコンテストを開催していただきありがとうございました。

・社会課題の解決は簡単ではなく、必要なアクターが適切な形で協働して初めて成し得るものだと感じました。自身がその起点となるべく、力をつけなければならないと強く思いました。



昨年度は、多くの企業様、財団様、様々な省庁から
ご後援を賜り、多くの社会人の皆様のご協力を経て、
無事コンテストを開催することができました。

本年度も充実した活動が行えるよう、一層励んでまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。

学生団体GEIL
代表 兒玉和奏

住所：東京都新宿区西新宿7丁目3-10 山京ビル503-63

E-Mail: geil26.negotiation@gmail.com

Instagram



X



HP



Facebook

